

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 151号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金突武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F
 TEL 045-228-7331 FAX 045 - 228 - 7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2015年6月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 2, 3、4
- 税理士法人 With you 【 連載 15 】 代表社員 出田 敏子 氏 5
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 6

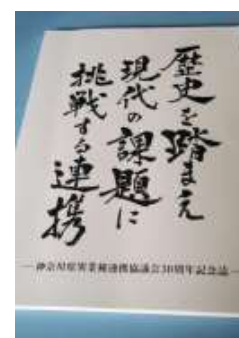
【 神奈川イグレンご案内 】

神奈川イグレン総会のご案内

- 【 日 時 】 2015年6月16日（火）13：30～14：30、講演会 15:00～16：30
 交流会 17:00 ～
- 【 会 場 】 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 6 F 大研修室
- 【 記念講演 】 金子 和夫 イグレン理事・・・ 脱原発で考える
- 【 参加費 】 無料：交流会参加の方は懇親会費として 2,000 円
 今年度の会費未納の方は当日お預かりすることも可能です。

- 【 内 容 】
- 中小企業条例関連
 - 30周年記念誌・シンポジウムの報告
 - 今年度の主要事業案・プロジェクトの動き

30周年記念誌につきましてはまだ在庫がありますので
 差上げます。お声がけください。



<その他>

先月のパソコントラブルによりイグレンニュースが未配信になっている方がおいでかもしれません。皆様の周りの方で配信されていないなど情報が入りましたらイグレンまでご連絡をお願いします。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【 C & S グループ 】

C & S 会 長 松 井 利 夫

C & S グループからNPO法人「C & S 経営支援協会」へ

1985年に結成したC&Sグループは、今年で満30年になるのを機会に、任意団体からNPO法人に生まれ変わることになりました。C&Sグループは、中小企業診断士や技術士で構成するコンサルタント集団として、イグレン設立の翌年からイグレンに加盟しています。メンバーはイグレンの事務局業務を担当するとともに中小企業の経営相談や支援活動等を実施してきました。

この機会に、C&Sグループが過去30年間イグレンの中でどのような活動をしてきたかを、C&Sの機関誌「C&S交信」129号(5/16発行)に掲載されている“C&Sグループを顧みて”と題する村上会員の記事を引用させて頂きながら振り返ってみたいと思います。

C&Sグループの発足当初は、初代後藤会長以下8名のメンバーが杉田にあった工業試験所の会議室を借りて例会を行っていました。支援事業としては、1988年度から小田原で始まって'98年まで川崎、藤沢、横須賀など県内主要都市で毎年開催された「異業種交流サミット」での裏方としての支援活動です。特に、'94年の横須賀大会では、基調講演等を録音しテープ起こしをして本にまとめ「新ビジネスはどうなっているか」のタイトルで'95年に出版されました。また、'87年から5年間、毎年開催された「異業種交流学校」開催の支援を行いました。

'95年には、工業試験所が杉田から海老名に移転することになったため、イグレンの事務局は現在の中小企業センターに移り、「異業種交流センター」という看板を掲げて活動が始まりました。この頃、コーディネータ制度が設けられて、C&Sのメンバー6名がコーディネータに任命され、経営相談などを実施するようになりました。同時に、女性グループなど多くの異業種交流チームや開発・研究・事業化プロジェクトが作られ、それぞれの事務局にC&Sのメンバーが就任して会の運営に携わりました。2000年には、中小企業センター主催の「かながわコンソーシアム」にも多数参加して新事業創出の支援を行いました。その後、JICAプロジェクトとしてアルメニアの中小企業指導者に対する研修事業が始まり、南東アジア諸国を含めて9年間続けられましたが、このプロジェクトにも加藤会員をはじめC&Sのメンバーが多数参加しました。今も、C&Sグループはサロン事業、新事業新技術フォーラム、関東学院大学プロジェクト等各種プロジェクトの推進者として頑張っています。

C&Sグループは、NPO法人「C&S経営支援協会」として7月から新たに出発しますが、イグレンでの活動は今まで通り継続していきます。これからは、「NPO法人」して、イグレン活動を支援する傍ら、広く一般市民及び企業・団体に対しても、セミナーや研修会の開催、経営相談等の支援事業を行うことで、地域の活性化に寄与していきたいと考えています。引き続きイグレン会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

第 1 6 2 回・日韓ビジネス協議会

高橋 導徳

1. 日時：2015年6月26日(金) 午後3時30分～5時15分 協議会 その後6時15分まで交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）Tel：045-228-7331

3. 次第：

- 「第24回日韓中小企業商談会」開催報告 日韓産業技術協力財団 部長 初瀬川 茂氏
中国西安と韓国大邱 恒例の日韓中小企業商談会を6月18日品川にて開催。
その様子および両国企業マッチングの傾向などを紹介。（10分程度）
- 「中国西安と韓国大邱」の出張報告・・・常陸興業（株）取締役 増田明一氏
中国西安市展示会および韓国海外バイヤー招待輸出商談会の紹介。（20分程度）
- 「アルゼンチン タンゴとラテン音楽」の動画。浅野一江、成田洋助ピアノ伴奏：田口栄一
プラスアルファー 所長 月岡泰夫氏 （20分程度）

【メイン講師：株式会社ワールドディング コンサルタント 池邊 正一朗氏
タイトル：「外国人受入れの現状と、外国人技能実習制度の改訂について」
要旨：最近の日本経済新聞には「海外で外国人技術者確保」という記事が掲載。
大成建設：優秀な期間労働者を契約社員化、竹中工務店：タイでミャンマー人材育成。
海外展開を進める上で、人材確保が最重要課題としてあがっている。

7月度は7月22日（水）に開催の予定。 また8月度の工場見学は8月26日（水）
日清オイリオグループ（株）横浜磯子事業所に決定。

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

<第4回ビジネス交流会のご報告>

2015年5月16日（土）かながわ労働プラザにて、第4回ビジネス交流会を開催しました。
毎月開催の定例会とは別に、比較的大きな規模での交流により、参加者間のビジネスの創出を図ろうと
開催したものです。
展示、プレゼンテーション、懇親会を開催したことにより、大いに盛り上がりました。
早速、仕事に発展している出会いもあったようで、主催者として嬉しい限りです。
多数のご来場ありがとうございました。

(概要)

- ・ 会員プレゼンテーション（4社×各10分）
テーマ：「変化と成長」
- ・ 参加者 65名
- ・ 一般プレゼン（10社×各5分）
- ・ 展示（9社）



2015 年 7 月 定 例 会 の ご 案 内

■日時 2015 年 7 月 14 日 (火) 18:30~20:30

■場所 かながわ県民センター 3 階 306 会議室

■講演

「信用金庫と中小企業を取り巻く支援施策」

地域金融機関である湘南信用金庫が行っている中小企業支援策について事例を交えながら説明していただき、信用金庫の上手な活用方法について伺います。

【講師】 湘南信用金庫 営業統括本部 地域活性課チーム湘南

中小企業診断士 課長補佐・吉田 浩三様

■参加費 定例会：初回は無料 2・3 回目は 1,000 円、4 回目以降は 4,000 円

懇親会：初回参加の方 1,000 円、2 回目以降の方実費 (3,000 円程度)

■異業種交流会シフト 21 とは

シフト 21 は平成 8 年から活動している異業種交流会です。多様な業種の経営者や起業家などが集い、外部講師による講演・会員のプレゼンなどを行い、各自の研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を目的としています。

■お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

【 川 崎 異 業 種 研 究 会 】

川崎市商工会議所 市川 順

< 3 月 定 例 会 >

3 月 1 2 日 (木) 午後 6 時より、川崎商工会議所会議室 4 にて、会員 11 名、オブザーバー 1 名、見学者 2 名の参加を得て開催した。会員企業である、山勝電子工業株式会社 代表取締役社長 金究武正氏から「自社の研究開発センター (宮城県名取市) 設立」、G L e a p コンサルティング株式会社 D L S ダイヤモンドランゲージスクール 校長 中野敬子氏から「本物のコミュニケーション力を最速・最短で身につける DLS メソッド」をテーマに紹介がされた。

金究代表取締役社長からは、取引先の地域・被災地への協力・補助金の活用などの説明がされた。

次に、中野校長からは、真のコミュニケーション力・オープンで活気ある空間の提供・受講者が主役の幅広いニーズに応じた仕組みなどの説明がされた。会員企業の社業紹介により、相互理解を深める貴重な機会となった。その後、会場を移して懇親会を行い、盛会裏のうちに終了した。

< 3 月 分 科 会 >

3 月 4 日 (水) 午後 6 時 30 分より、高津市民館第 1 会議室にて、会員 8 名、学生 5 名の参加を得て、開催した。公益財団法人川崎市産業振興財団 酒井賢二氏を招き、「近年の補助金」をテーマに講演が進められた。まず、補助金数の増加傾向と対象業種の拡大について説明がされた。

次に、(初回は) 申請や報告書類で困惑するかもしれないが、以前に比べて利用しやすくなっており、川崎市産業振興財団では作成などのサポートをしていると述べられた。

ものづくり補助金を例に、各項目の論点を整理しながら、ストーリー展開していく重要性を教わった。

それには、見出しづくりはもとより、専門知識のない人にも伝えるポイント (開発項目では、箇条書き・図・写真など) があると学んだ。

そして最後に、今年募集の補助金について紹介がされた。

懇親会では、(川崎) 市内で実際に取り組んでいる事業所などで話が大きい盛り上がった。

< ご 報 告 >

*** 川崎異業種研究会の会長が、原務氏から菅原智照氏になりました ***

税理士法人 With you

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 2-4 YS ビル 3F
電話：045-312-6724 FAX：045-412-6734
<http://www.tkcnf.com/ideta/pc/>

税理士・産業カウンセラー・FP・
キャリアデベロップカウンセラー

代表社員 出田 敏子



【 連載 15 】

梅雨に入り、お天気も落ち着かない日々が続いています。
みなさま、いかがお過ごしでしょうか？
今月は空家対策特別措置法と現物給与の源泉所得税についてお伝えします。

< **空家対策特別措置法**が施行されました。 >

去る 5 月 26 日に「**空家対策特別措置法**」が全面的に施行されました。この法律は、今全国で深刻な問題になっている老朽化した空家数の減少と有効活用を目指すものです。現在、空き家が増加している背景には、土地に住宅が建っている場合に適用される固定資産税の軽減もあり、また更地にするための倒壊費用の負担がかかってしまうという事があげられると思われま

す。今回の法律により、自治体の権限が強化されました。倒壊の危険や衛生上問題がある空家を、自治体が「**特定空家等**」に認定した場合、所有者に対して、除却、修繕、立木竹の伐採等の助言・指導・勧告・命令ができるようになり、更に**行政代執行（強制執行）**による撤去も可能になりました。また所有者が助言、指導に応じず、勧告に至った場合、固定資産税の住宅用地の特例が適用されなくなるので、固定資産税の負担が重くなる場合があります。

このような法律を知らないまま空家住宅を所有している方は、思わぬ負担を強いられることになることもあります。が、同時にこのような住宅の所有者に対するビジネスにつながるチャンスになりうるとも考えられます

< *** **現物給与源泉所得税**に注意をしてください！！ >

企業や事業主は、従業員の給与から毎月、所得税の源泉徴収を行っています。ですが、課税対象となる給与は金銭だけではなく、自社の商品・製品の支給や割引販売、食事や社宅等の貸与など現物給与として課税対象となる場合もあります。これらの事に注意をしましょう。

ただし、現物給与でも、非課税とされるものもあります。現物給与に関する取り決めは、複雑であり、誤解や誤りも多いので、源泉徴収を対象にした税務調査でもよく聞かれます。

源泉徴収漏れを指摘されると、従業員からその不足分を徴収しなければならないので、お互い負担になります。専門家等に相談するように致しましょう！！

※主な現物給与で非課税になるもの

・例えば、通勤定期券 1ヶ月あたり 10万円まで （など他にもあります。）

皆様、湿り気に負けず、お体にお気をつけてお仕事がんばってくださいませ。

	尾上町サロン	西湘サロン 第 56 回	三浦半島経済人サロン 第 67 回	神奈川新産学公交流 第 67 回 サロン横浜
日程	6 月 19 日 (金) 7 月 03 日 (金)	7 月 13 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 00 開場は 17 : 30 ~	6 月 未定 18 : 00 ~ 20 : 30 開場は 17 : 30 ~	7 月 15 日 (水) 18 : 00 ~ 開場は 17 : 30 ~
場所	神奈川中小企業センタ ー 703 イグレン事務室	日本生命小田原ビル 4 階会議室 小田原市本町 1-4-5	神奈川新聞社 横須賀支社 5 階会議室 横須賀市小川町 21-9	神奈川県中小企業セ ンター 6 階大研修室
連絡先	イグレン事務局	イグレン (吉池、)	イグレン (芝、鶴野、小磯、 堀込、雑賀、西沢)	(織方、篠原、坂本、 杉本)
内 容	原則第一・第三金曜日 (17:15~19:30) ざっくばらんに語らい あう場 参加費 : 1,000 円	「ピクセラ工場の創 業・現在・今後」 (有)ピクセラ工房 代表 取締役 青野 俊明氏 参加費 : 1,000 円	参加費 : 1,000 円	「生命保険を活用し た事業承継」 プルデンシャル生命 宗和 正憲 参加費 : 1,000 円

海老名サロンのお知らせ・・・7月24日 14:00～ 株式会社日立オートモティブシステム
工場見学予定

6 月に入り関東地方も梅雨入りです。雨の恵みもあり我が家ではこの春に種をまいたひまわりも徐々に大きくなって
きました。ひまわりと言えば皆さんどのようなイメージがわきますか？私の場合「のびのび」「すくすく」元気に育つ夏
の花というイメージがありますが、この「のびのび」「すくすく」元気に育つ・・・ということに対して少し気になるニ
ュースが飛び込んできました。

内閣府が発表した「子供の貧困」です。子どもの相対的貧困率は 1990 年代半ば頃からおおむね上昇傾向で現在、
約 16% の子供たちが貧困だということです。実に 6 人に 1 人が貧困で経済的理由により就学困難と認められ、就学援助を
受けている小学生・中学生は平成 22 (2010) 年には約 155 万人にも及ぶそうです。予備軍も合わせると
相当な人たちが困窮していることが想像できます。これでは安心して二人目三人目の子供も持てませ
ん。もっと「のびのび」「すくすく」と子供が成長できる社会にすることが望まれますね。



神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する
事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしまなかつ
た出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝
【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階インキュベートルーム 703 号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com